

日本女性会議 2012 仙台 に行ってきました!!

テーマ: きめる・うごく・東北から



前回の松江会場で「来年は仙台です」と呼びかけられた。復興も進んでいないのにできるのか、と聞いてみたら「大丈夫です」という力強い返事で、その場で参加を決意した。

初日の特別プログラムは「女性たちが語る3.11～これまでと今と」というテーマで5人のパネリストがそれぞれの状況を語った。一人ひとり違うので訴える内容も違っていたが、共通していたのは「女性」であるが故のさらなる困難、であった。

2日目の分科会でも聞いたことだが、女性・子ども・高齢者・障がい者など「弱者」といわれる人たちが置き去りにされている、ということだ。それは、今の社会の有り様を反映しているのではないかと思った。

3日目、南三陸町への旅では「自分が見たこと聞いたことを多くの人に伝え続けることが大事だ」と感じた。

2泊3日の短い時間だったが、参加したことで現場を見ることができ、よかったと思う。

西区アドバイザー 江藤 淑子

今年度の日本女性会議は10月26～28日に仙台で開催され、特別プログラム「女性たちが語る3.11～これまでと今と」と全体会、第3分科会「役に立つ人権の話」、エクスカージョン「南三陸復興応援ツアー」に参加した。

パネリストの震災体験や復興支援の実情を聞くと、たくさんの人たちが早い段階から被災者の受け入れや支援物資の伝達、心のケア、報道などの行動を起こしていた。特に感じたのは、男性中心になりがちな被災地への女性の視点からの災害支援の大切さ、パネリストのすばやい行動力、また震災があったから様々な問題が起きるのではなく、普段からある問題が災害によって表面化し大きな問題となるということであった。

中心部は80%が被災しているという南三陸では、復興のめども立たない極限状態の中で希望を捨てずに暮らしている様子に胸を打たれた。私たちができること、被災地が望んでいることは「3.11」を忘れずに支援を続けることである。

西区アドバイザー 松村 良子

編集後記

「なぎさ」に初めて関わり、編集の難しさを知りましたが、実行委員会では、活発な意見や、そこから広がるいろいろな話をしたり、聞いたりの会議でした。とても勉強になりましたし、楽しい時間を過ごしました。

なぎさ

第44号

2013.3



あなたと情を広げたい

編集発行 西区男女共同参画をすすめる会 〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1 (西区の宝 斜ヶ浦池 角 芳郎氏撮影)



西区男女共同参画をすすめる会30周年のつどい

いつも心に太陽を! ~自分らしく輝いて生きよう~

ちひろコンサート



漫画制作報告



私たちは前身の「西区婦人連絡協議会」から始まり、現在の「男女共同参画をすすめる会」へと名称を変えながら活動をしてまいりました。30周年のふしみにあたる昨年11月23日に「30周年のつどい」を開催いたしました。

私たちの活動は目に見え、形に残る様なものではありません。今年の「テーマ」"いつも心に太陽を!自分らしく輝いて生きよう"をインスピレーションの「北風と太陽」に例えて「女性だから、男性だから」と押しつけるのではなく、人として、太陽のように豊かく包み込める様な活動でありたいと願っています。地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、30周年のつどいを開催できました事を深く感謝いたします。

会長 山岡 三重子

西区男女共同参画表彰

西区では、男女共同参画社会の形成に貢献している個人、または団体の表彰制度を今年度創設いたしました。

平成24年度の表彰式が、「西区男女共同参画をすすめる会30周年のつどい」で執り行われ、今年度は功労賞(個人)5名、団体賞3団体が受賞しました。



〈功労賞(個人)受賞者一覧〉

藤田 孝子(愛宕浜校区) 多良 頼子(城原校区)
鈴川 紀美子(恵校校区) 濱地 長俊(元岡校区)
関 由紀子(石丸校区)

〈団体賞 受賞者一覧〉

宮城東校区男女共同参画推進委員会
内浜校区男女共同参画かがやきの会
周船寺校区男女共同参画をすすめる会

地域リーダー育成事業重点推進区となって…

〈継続〉西区各校区自治協議会役員への就任状況(監事、その他を除く)比較

| H22年度 | 会長 | | 副会長 | | 書記 | | 会計 | | 全体 | |
|-------|----|-----|-----|------|----|-----|----|------|-----|------|
| | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 |
| 合計(人) | 23 | 0 | 43 | 6 | 20 | 8 | 24 | 9 | 110 | 23 |
| 合計(%) | | 0 | | 13.9 | | 40 | | 37.5 | | 20.9 |

| H24年度 | 会長 | | 副会長 | | 書記 | | 会計 | | 全体 | |
|-------|----|-----|-----|------|----|------|----|------|-----|------|
| | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 | 総数 | 女性数 |
| 合計(人) | 23 | 0 | 43 | 8 | 21 | 8 | 23 | 7 | 110 | 23 |
| 合計(%) | | 0 | | 18.6 | | 38.1 | | 30.4 | | 20.9 |

現状 状況にあまり変化が見られませんが、各校区内の自治協議会役員の中で、副会長の数が増えてきたことは、良い傾向だと思います。

課題 地域社会を担う役員、特に会長職に対しては女性側にも引き受け手が少なかったり、男性以上に家庭の理解、協力が不可欠であることも重要な要素であります。

展望 重点推進区としての活動は今年度で終了しますが、男女共同参画社会の実現を目指して、活動の意味、役割を男女問わず繰り返し伝えて行くことが大切であります。

漫画で男女共同参画について考えるコーナー

某自治会の次期会長選の場面で、なかなか引き受け手がありません。その時、元気よく手をあげた女性があります。



この白抜きのセリフを考えてみて下さい。いろいろな意見があると思います。
(漫画で見る男女共同参画は、各公民館や区企画課、または西区ホームページでもご覧になれます。)

委員交流会・意見交換会

〈地域と男女共同参画〉

9月委員交流会・意見交換会

第2回委員交流会・意見交換会は、福岡市地域活動アドバイザーの十時裕氏を講師に迎え、「ますます楽しくなる男女共同参画」のテーマで話して頂きました。

9月担当委員会は、事前に十時先生と「担当者校区の現在の活動とこれからの活動」について話し合い、各校区も同じ悩みなのではと考えました。

研修では、男女共同参画を充実させるためには、気づきを与えることが大切だとのアドバイスを頂きました。地域活動をしていく上で大切なのは、女だから男だからという考えに疑問を投げかけること。「身近な気づきから始まる男女共同参画」を心がけた、男女共同参画社会を目指していきたいと思ひます。

愛宕浜校区 原賀 恵美子



1月委員交流会・意見交換会

テーマ

「校区男女共同参画の自治協との関わり・位置づけ」

第3回委員交流会、意見交換会では、各校区での活動を紹介したパネルを参考にして活発な意見を交換しました。

意見の中には、主催事業なのか共催事業なのかわからない、男女共は女性がするものだと決めつけず、男性の協力が必要などといったものがありました。地域や自治協議会などでの立場は様々だったり、課題も異なりますが、地域や自治協議会の理解が活動に大きく影響していると思ひます。無くてはならない存在であるために今後も活動して行きたいと思ひます。

愛宕浜校区 峰 久美子 茗城東校区 濱田 三千代

